

【事業名称】

第29回全日本中国語スピーチコンテスト

【開催日時】

2012年1月8日

【開催場所】

東京都文京区・日中友好会館地下ホール

【主催者・共催者等】

(主催) 社団法人日中友好協会 (協賛) 全日空 (特別協力) 財団法人日中友好会館
(後援) 外務省、文部科学省、中日友好協会、駐日中国大使館など

【事業内容】

協会が今年行う日中国交正常化40周年記念行事で、会場は約200人の聴衆でにぎわった。着物姿でスピーチする出場者も見られ、40周年の幕開けを華々しく飾った。

当日は、全国17の地方大会を勝ち抜いた大学生部門9人、高校生・一般部門10人が出場した。主催者を代表して村岡久平理事長が「来年は記念すべき第30回。新機軸を打ち出したい」と挨拶し、審査委員長の興水優・東京外国語大学名誉教授は「29年の継続と発展は大変なものだったと思う。さらに大きなものになってほしい」と語った。

高校生・一般部門の1位は、東京都代表の後藤佑嘉さん(28・会社員)で、後藤さんは、子どもの頃に米国生活で抱いた外国語学習に対する苦手意識を中国語学習を通じて克服し、「自分を信じる心」を養った経験をメリハリのある中国語で表現した。

大学生部門の1位は、田中結衣さん(22・神戸市外国語大学3年)で、中国語を学んで変化した中国に対する考え方や友好への気持ちを紹介。「“草の根”の交流を盛り上げる民間の外交官になりたい」という思いを若さいっぱいスピーチした。

また、当日は朗読部門の入賞者による発表会も行われ、特別審査員の続三義・東洋大教授が一人一人に対しアドバイスした。



全出場者と審査員ら関係者



着物姿でスピーチする出場者